

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 大阪ビューティーアート専門学校

学科名：美容科

授業科目名	単位数
美容技術理論 I	3
美容実習 I -A	3
衛生管理 I	1
合計	7

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	保健Ⅰ		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。		
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。		
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	保健Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中山 尚美	実務経験	○
実務内容	基幹病院で14年のほか、在宅医療等にも関わり看護師として25年以上勤務継続中、国家試験美容座学を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	1項 人体各部の名称
2	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	2項 頭部、顔部、頸部の体表解剖学
3	第2章/骨格器系	1項 骨の種類と構造 2項 骨の連結
4	第2章/骨格器系	全頭ブリーチについて
5	第3章/筋系	1項 筋の種類とその特徴 2項 主な骨格筋とそのはたらき
6	第3章/筋系	3項 表情筋と表情運動
7	まとめ	まとめを行う
8	解説	振り返り・解説
9	第4章/神経系	1項 神経系の成り立ち
10	第4章/神経系	2項 中枢神経とそのはたらき 3項 末梢神経とそのはたらき

11	第5章/感覚器系	1項 視覚 / 2項 聴覚 / 3項 平衡感覚
12	第5章/感覚器系	4項 味覚 / 5項 嗅覚 / 6項 皮膚感覚
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第6章/血液と免疫系	1項 血液のあらまし
17	第6章/血液と免疫系	2項 免疫のあらまし 3項アレルギー
18	第7章/循環器系	1項 心臓のあらまし 2項 血液循環のしくみ
19	第7章/循環器系	3項 血液の循環経路
20	第7章/循環器系	4項 リンパ管系の仕組みとはたらき
21	第6章・第7章振り返り	6章、7章の振り返り、要点解説
22	まとめ	まとめを行う
23	解説	振り返り・解説
24	第8章/呼吸器系	1項 呼吸器系のあらまし 2項 気道
25	第8章/呼吸器系	3項 肺の仕組みとガス交換 4項 呼吸運動
26	第9章/消化器系	1項 消化器系のあらまし 2項 消化管の仕組み
27	第9章/消化器系	3項 消化管のはたらき 4項 消化管と物質代謝
28	まとめ	まとめを行う
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅰ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科		30
使用教材	文化論		出版社	社)日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 課題提出:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石川裕敏		実務経験		○
実務内容	美術館やギャラリーでの美術作品制作や展示活動と本校にてデッサン・イラストレーションを担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章 総論 第1節 総論	教科、授業進行の説明。美容師に求められるものについて。用具の説明。
2	第4章ファッション文化史西洋編 第1節～第3節 古代エジプト・ギリシア・ローマ・ゲルマン	古代エジプト・ギリシア・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について
3	第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について
4	第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世(16世紀) 第6節近世(17世紀)	全頭ブリーチについて
5	第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世(18世紀)	18世紀の髪型・化粧・服装について
6	第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代(18世紀末～19世紀初め) 第9節近代(19世紀)	18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について
7	第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代(1910～1920年代) 第11節現代(1930～1940年代前半)	1910～1940の髪型・化粧・服装について
8	テスト アクティブラーニング	テスト、アクティブラーニング
9	第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代(1940後半～1950年代)	1940～1950の髪型・化粧・服装について
10	第4章ファッション文化史西洋編 第13節現代(1960年代)	1960の髪型・化粧・服装について

11	第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代(1970年代)	1970の髪型・化粧・服装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	礼装について
13	第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代(1980年代) 第16節現代(1990～2010年代)	1980～2010の髪型・化粧・服装について
14	総まとめ	総まとめを行う
15	テストと解説	テストと解説を行う
16	第2章 日本の美容業の歴史 第1節～第2節	第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業
17	第2章 日本の美容業の歴史 第3節～第4節	第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業
18	第3章ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳	縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について
19	第3章ファッション文化史日本編 第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代)	古代の髪型・化粧・服装について
20	テスト 第3章ファッション文化史日本編 第3節 第4節	テストと解説、中世・近世Ⅰの髪型・化粧・服装について
21	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世(江戸時代)	江戸時代の女性の髪型、化粧について
22	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世(江戸時代)	江戸時代の男性の髪型、服装について
23	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治)	明治の髪型・服装・化粧について
24	第3章ファッション文化史日本編 第7節 近代(大正)	大正、昭和(戦前)の髪型・服装・化粧について
25	テスト 第3章ファッション文化史日本編 第8節 近代(昭和20年)	テストと解説、明治、大正、昭和(戦前)の復習
26	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代(1945～1950年代)	昭和(戦後)の髪型・服装・化粧について
27	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代(1960～1970年代)	1960年代の髪型・化粧・服装について
28	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代(1960～1970年代)	1970年代の髪型・化粧・服装について
29	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第11節 第12節	1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
30	テスト、総まとめ	テスト、総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科	3	90
使用教材	美容技術理論Ⅰ			出版社	社)日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト:50%　小テスト:30%　授業態度:20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	技術理論Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山本　太一	実務経験	○
実務内容	美容室に13年勤務したのち、美容教員として教員を始める。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション ＜序章 美容技術理論を学ぶにあたって＞	※ 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 ・作業点と姿勢 ・力の配分と姿勢 ・人体各部の名称 ・美容における頭部の区分
2	＜第1章 美容用具＞ 1. 美容技術における用具 2. コーム 3. ブラシ 4. シザース	・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法 ・シザースの種類、各部の名称、選定法と手入れ法
3	＜第1章 美容用具＞ 5. レザー 6. ピン類、ヘアクリップ 7. ロッド 8. ローラー	・いろいろな太さのローラー ・ホットカーラー(ローラー) ・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかかり方、選定法と手入れ法 ・ヘアピンのいろいろ・ロッドの種類
4	＜第1章 美容用具＞ 9. ヘアアイロン 10. ヘアドライヤー 11. ヘアスチーマー 12. 遠赤外線機	全頭ブリーチについて
5	＜第2章 シャンプーイング＞ 1. シャンプーイング総論 2. サイドシャンプー 3. バックシャンプー	・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス ・ブラッシング・ファースト、セカンドシャンプー・バックシャンプーの手順、指の動き
6	＜第2章 シャンプーイング＞ 4. リンス、コンディショナー・トリートメント	・リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、違い、成分 ・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的 ・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例
7	＜第2章 シャンプーイング＞ 5. スカルプトリートメント 6. ヘッドスパ	・スカルプトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスカルプトリートメント技術の一例 ・スカルプマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクゼーションマッサージ
8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：序章～第2章】
9	＜第5章 パーマネントウェーピング＞ 1. パーマネントウェーブの歴史と現在 2. パーマネントウェーブの理論 3. パーマ剤の分類	・パーマネントウェーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪の構造について ・ウェーブが形成される仕組み・パーマ剤の分類、種類
10	＜第5章 パーマネントウェーピング＞ 4. パーマ剤に関する注意事項 5. パーマネントウェーブ技術	・使用前、操作中に関する注意事項 ～ 毛髪診断
11	＜第5章 パーマネントウェーピング＞ 5. パーマネントウェーブ技術 6. 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)	・パーマネントウェーブ技術 シャンプー ～ 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)

12	＜第3章 ヘアデザイン＞ 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素
13	＜第3章 ヘアデザイン＞ 1. 美容とデザイン	・デザインの原理
14	前期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第5章・第3章】
15	総合授業	総まとめを行う
16	＜第4章 ヘアカット＞ 1. ヘアカットとは 2. シザーズとレザーの扱い方 3. 美容刃物 4. ヘアカットの正しい姿勢	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本
17	＜第4章 ヘアカット＞ 5. ブロッキング 6. ヘアカットの基礎理論 7. ベーシックなカット技法	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類・パネルと頭皮の角度・毛先が集まる位置とカットラインの関係・パネルの幅や長さでカットラインの関係・パネルの角度とシルエットの関係・ラインの設定法 ・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイルレングスカット
18	＜第4章 ヘアカット＞ 8. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類 ・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパーカットの分類
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章】
20	＜第6章 ヘアセッティング＞ 1. ヘアセッティングとは 2. ヘアパーティング 3. ヘアシェーピング	・オリジナルセットの基本的な要 ー スtrandシェーブ、フィンガーウェーブ時の持ち方
21	＜第6章 ヘアセッティング＞ 4. ヘアカーリング	・オリジナルセットの基本的な要 ー スtrandシェーブ、フィンガーウェーブ時の持ち方 ・カール各部の名称、分類 ー クロッキノールカール技術の一例
22	＜第6章 ヘアセッティング＞ 5. ヘアウェーブ 6. ローラーカーリング	・ヘアウェーブの名称、分類 ー ローラーウェーブ ・ベースの幅と厚さ
23	＜第6章 ヘアセッティング＞ 7. ブロードライ 8. アイロンセッティング	・ハンドドライヤーとブラシの基本操作 ・アイロンの持ち方
24	9. バックコーミング 10. アップスタイル 11. ウィッグとヘアピース	・バックコーミング・アップスタイル ・ウィッグ、ヘアピース手入れ法
25	＜第7章 ヘアカラーリング＞ 1. ヘアカラーリング概要 2. ヘアカラーの種類 3. ヘアカラーのタイプ別特徴 4. 染毛のメカニズム	・ヘアカラーリングの歴史、種類 ー タイプ別染毛メカニズム
26	＜第7章 ヘアカラーリング＞ 4. 染毛のメカニズム 5. 色の基本 6. 毛髪のレベルとアンダーコート	・ヘアカラーの色選び～アンダーコート
27	＜第7章 ヘアカラーリング＞ 7. パッチテスト 8. 染毛剤使用時の注意 9. ヘアカラーリングの道具 10. 酸化染毛剤の技術手順 11. 酸性染毛剤の技術手順	・染毛剤と皮膚炎・ヘアカラーリング専用の施術道具 ・パッチテスト・酸性染毛剤の技術手順
28	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章・第6章、第7章】
29	まとめ・解説	まとめ・解説を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	衛生管理		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト:50%　小テスト:30%　授業態度:20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	安井　千春	実務経験	○
実務内容	薬剤師として病院、調剤薬局の勤務を経て2002年から国家試験科目「衛生管理」を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編　公衆衛生 1章公衆衛生の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編　公衆衛生 2章保健	「母子保健」
3	第1編　公衆衛生 2章保健	「成人・高齢者」
4	第1編　公衆衛生 2章保健	全頭ブリーチについて
5	第1編　公衆衛生 2章　保健	「成人・高齢者」「精神保健」
6	第1編　公衆衛生 2章　保健	まとめ
7	第2編　環境衛生 1章環境衛生	1節　環境衛生の概要
8	第2編　環境衛生 2節　空気環境	空気と健康 温熱環境と健康
9	第2編　環境衛生 3節　衣装・住居の衛生	衣服の衛生
10	第2編　環境衛生 3節　衣装・住居の衛生	住居の衛生

11	第2編 環境衛生 4節上・下水道と廃棄物	上水道、下水道、廃棄物
12	第2編 環境衛生 5節衛生害虫とネズミ 6節環境保全	衛生害虫とネズミ 水質汚濁
13	まとめ	まとめ
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめ
16	第3編 感染症 1章感染症の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
17	第3編 感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
18	第3編 感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
19	第3編 感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
20	第3編 感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
21	第3編 感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種
22	第3編 感染症 1章感染症の総論③	予防のための3原則 まとめを実施する
23	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
24	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
25	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
26	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
27	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
28	まとめ	まとめ
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ-A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する		
到達目標	美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す		
評価基準	総まとめ40％　まとめ30％　提出物20％　授業態度10％		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格(実技)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-E		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石橋稚永	実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師を3年、アイラッシュサロンにてアイリストを2年、アイリストとして独立して10年経た実務経験を基に、国家試験実技を教授する		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)、机上セッティング、ウィッグの取り扱い、コムワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、姿勢、体の使い方、構成習得、国家試験衛生
2	ワインディング	コムワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、復習 強化、姿勢、体の使い方、ブロッキング計測15分
3	ワインディング	ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測15分～13分、センター導入 上巻き導入、姿勢・体の使い方・目線・立ち位置
4	ワインディング	全頭ブリーチについて
5	ワインディング	ブロッキング構成、計測10分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化
6	ワインディング まとめ	ブロッキングまとめを実施する 計測10分、コムで取るブロッキング(12ブロック)導入 計測15～13分、センター強化、(センター15分)計測1本60秒、フロント導入、構成
7	ワインディング	ブロッキング(コム、12ブロック)計測10分、センター強化、(センター15分)計測1本60秒 フロント復習、強化、右バックサイド～ネープ導入
8	ワインディング	ブロッキング(コム、12ブロック)計測10～8分、センター強化、(計測センター12分～13分)計測1本約50秒、フロント、右バックサイド復習、強化、右サイド導入
9	ワインディング	ブロッキング(コム、9ブロック)計測8～6分、(センター計測11分～12分)計測1本約45秒、フロント、両バックサイド～ネープ復習、強化、サイド復習
10	ワインディング	ブロッキング(コム、9ブロック)計測6～5分、(センター計測10分～11分)計測1本約40秒、フロント、両バックサイド～ネープ強化、サイド復習
11	ワインディング	ブロッキング(コム、9ブロック)計測5～4分、(センター計測10分～11分)計測1本約40秒、フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネープ導入

12	ワインディング	ブロック(コーム、9ブロック)計測4～3分、(センター計測9分～10分)計測1本約35秒 フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネツプ復習、サイド導入
13	ワインディング	ブロック(コーム、9ブロック)計測4～3分、(センター計測9分～10分) 計測1本約35秒全頭復習、左サイド復習、強化
14	ワインディング 総まとめ	ワインディング総まとめを実施する 計測ブロック(コーム、9ブロック)4分 全頭巻き35分
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I -B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	シャンプー教材一式 美容技術理論 I・VRコンテンツ		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	シャンプーイングの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーイングの違いを知る		
到達目標	シャンプーイングの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける		
評価基準	シャンプー：総まとめ25%　まとめ15%　授業態度10% 各校フリー：総まとめ25%　まとめ15%　授業態度10%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格(実技)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「シャンプーイング」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	村上慶太	実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として33年勤務した実務経験を基に美容室経営及びスタッフ育成に取り組んでいます。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【シャンプーイング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・実習ルール・マナールール説明 教材確認(教材の名称・扱い方・管理方法・名前書)・自己紹介・美容業の心得・ブラッシング・シャンプー工程説明・ウィッグでの レッスン・ブロー・VR視聴
2		
3	バックシャンプー(座位)	シャンプー手順 1シャンプー ・2シャンプー、コンディショナー、トリートメント
4	バックシャンプー(座位)	全頭ブリーチについて
5	バックシャンプー(座位)	シャンプー手順 1シャンプー ・2シャンプー、コンディショナー、トリートメント、タオルドライ、ブロー
6	バックシャンプー(座位)	シャンプー手順 1シャンプー ・2シャンプー、コンディショナー、トリートメント、タオルドライ、ブロー
7	バックシャンプー(座位)	テスト
8	バックシャンプー(立位)	シャワーヘッドの使用法、椅子のセッティング、プレシャンプー コンディショナー、トリートメント
9	バックシャンプー(立位)	シャンプー手順 1シャンプー ・2シャンプー、コンディショナー、トリートメント、タオルドライ、ブロー
10	バックシャンプー(立位)	シャンプー手順 1シャンプー ・2シャンプー、コンディショナー、トリートメント、タオルドライ、ブロー
11	バックシャンプー(立位)	シャンプー手順 1シャンプー ・2シャンプー、コンディショナー、トリートメント、タオルドライ、ブロー

12	バックシャンプー(立位)	テスト
13	マッサージ	ヘッドマッサージ・肩のマッサージ
14	ヘッドスパ	手順
15	総合授業	1シャンプー・2シャンプー、トリートメント、ヘッドスパ、タオルドライ、ブロー
各回の展開【各校フリー】		
回数	単元	内容
1		座学 ワンレン10cm セニング 前髪流し
2		塗布技術ホイルカラー(イヤリングカラーなど)
3		ボブ シースルーバンゲ
4		ブリーチ
5		オンカラー
6		レイヤー・ストローク
7		ホイルカラー
8		ショート
9		まとめテスト 筆記とデッサン
10		デッサンしたものを切ってみる
11		デッサンしたものを切ってみる
12		ブリーチ仕込み
13		ブリーチ仕込み
14		大テスト 刈り上げに使うのでショートまでOK
15		刈り上げ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I -C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル ヘアアレンジ式、ヘアアレンジテキスト(デジタルテキスト)			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成 基礎知識を習得する 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術を出来る様にする 【フリー】各校記入				
到達目標	【国家試験カット】国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【ヘアアレンジ】ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来るようになる。就職活動に必要なセルフテクニックを知る。 【フリー】各校記入				
評価基準	・ワインディング:総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% ・フリー:総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% ・ヘアアレンジ:テスト40% 小テスト30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	【国家試験カット】美容技術理論 I・美容実習 I -D・美容実習 I -E 【ヘアアレンジ】美容実習 I -A・美容実習 I -D・美容実習 I -E・ヘアアレンジ				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	砂崎愛美子			実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として、6年勤務した実務経験を基に、国家試験実技を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)机上セッティング 道具の扱い方、シザー持ち方開閉、コムワーク、立ち位置、姿勢 ワンレングスブロッキング ワンレングスカットを実施
2	国家試験カット	道具の扱い方、姿勢、立ち位置、ブロッキング、スライスの取り方、シザーの開閉、シェーピング仕方、止め方 ワンレングスカット、レイヤーカットを実施 国家試験ブロッキング導入
3	国家試験カット	基本動作(姿勢・コムの使い方・留め方)の確認・復習 国家試験ブロッキング復習
4	国家試験カット	全頭フリーチについて
5	国家試験カット	基本動作の確認・復習 国家試験ブロッキング復習(計測:8分)・ヘムライン復習
6	国家試験カット まとめ	まとめの実施 国家試験ブロッキング(計測:8分) ヘムライン復習 第3ブロック導入
7	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン、第3ブロック復習 第2ブロック導入
8	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン・第3ブロック・第2ブロック復習 第1ブロック導入
9	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン・第3ブロック・第2ブロック・第1ブロック復習 バックカット修正導入
10	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習(計測:25分)

11	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習(計測:23分)
12	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習(計測:21分)
13	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習(計測:20分)
14	国家試験カット 総まとめ	総まとめを実施する バックまでのカット(修正込み計測:20分)
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【ヘアアレンジ】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション、道具の使い方、 頭部のポイント、コーム・ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 基礎知識、頭部名称
2	ブロッキング、ゴム結び(一束結び)、ピン グ	ブロッキング、ポニーテール導入
3	三つ編み・編み込み	ポニーテール反復練習 三つ編み・編み込み導入＆練習
4	片編み込み・フィッシュボーン	片編み込み・フィッシュボーン導入＆練習
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ヘアアイロン	アイロン導入
8	ヘアアイロン	アイロン反復練習
9	ホットカーラー	ホットカーラー導入
10	ホットカーラー	ホットカーラー反復練習
11	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー反復練習・逆毛導入
12	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー、ピンング、逆毛反復練習
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	テスト	実技テスト
15	総合授業	振り返りを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I -D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -D		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カットिंग教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル VR			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットtingの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する		
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す		
評価基準	オールウェーブ:総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5% 国家試験カット:総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格(実技)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-E		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「オールウェーブセッティング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	小林貴志	実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として、17年勤務した実務経験を基に、国家試験実技を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【オールウェーブセッティング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 教材確認(教材の名称、扱い方、管理方法)、ウィッグ事前仕込み(カット)
2	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ)
3	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ) ローション塗布・ウェーブの基本導入
4	オールウェーブセッティング	全頭ブリーチについて
5	オールウェーブセッティング	ウェーブ・リッジ復習 1段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)
6	オールウェーブセッティング	1段目復習 2段目ウェーブ、リッジ導入
7	オールウェーブセッティング	1段目・2段目復習 3段目導入(ウェーブ、リッジ、スカルプチュアカール)
8	オールウェーブセッティング	1段目～3段目 各段強化
9	オールウェーブセッティング	1段目～3段目 復習・強化 (計測:20分)
10	オールウェーブセッティング	1段目～3段目 復習・強化 (計測:20分)
11	オールウェーブセッティング まとめ	まとめを実施する 1段目～3段目(計測20分) 右側、左側ウェーブ、リッジ、くり抜き導入

12	オールウエーブセッティング	1～3段目構成、計測18分～15分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化
13	オールウエーブセッティング	1～3段目構成、計測15分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化、計測左右各6分～5分
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	総まとめを実施する 1～3段目、右側・左側ウエーブ、リッジ、くり抜き計測25分
15	総合授業	後期振り返り
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)、机上セッティング 前期再確認、シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、カッティング手順再確認 国家試験衛生 これまでの復習(バックチェックカット込み:計測20分)
2	国家試験カット	バック復習、フェイスライン、フロント導入
3	国家試験カット	バック、フェイスライン、フロント復習 サイド、チェックカット導入 カッティング手順再確認 (計測:40分)
4	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 (計測40分～35分)
5	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 (計測35分)
6	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 (計測35分)
7	国家試験カット まとめ	まとめを実施する (計測:35分)
8	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 (計測35～30分)
9	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 (計測35～30分)
10	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 (カッティングのみ計測:25分 チェックカット込み30分)
11	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 (カッティングのみ計測:25分 チェックカット込み30分)
12	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 (カッティングのみ計測:25分 チェックカット込み30分)
13	国家試験カット 総まとめ	カッティング総まとめを実施する (チェックカット込み計測:30分)
14	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 (カッティングのみ計測:23分 チェックカット込み28分)
15	総合授業	後期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ-E		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR ヘアアレンジ式、ヘアアレンジテキスト(デジタルテキスト)			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術を試験時間内に巻くことができ、国家試験レベルの技術を習得する 【フリー】各校入力 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。				
到達目標	【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【ヘアアレンジ】人にする為の技術・知識と、セルフアップの為の技術・知識と、両方の視点で基礎技術と知識を理解出来るようにする。				
評価基準	・ワインディング:総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% ・フリー:総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% ・ヘアアレンジ:テスト40% 小テスト30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	【ワインディング】美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-A・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-D 【ヘアアレンジ】美容実習Ⅰ-A・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-D・ヘアアレンジ				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	藤川恵美子			実務経験	○
実務内容	美容師として9年勤務した後に、国家試験の実技授業を担当しています。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、教材確認(扱い方、管理方法) 前期復習 計測35分～32分
2	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測32分～30分 全頭の構成の強化
3	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測30分～28分 全頭の構成の強化
4	ワインディング	全頭ブリーチについて
5	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分～26分 全頭の構成の強化
6	ワインディング まとめ	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分 まとめを実施する ブロッキング込み全頭 (計測28分) 全頭の構成の強化
7	ワインディング	ブロッキング込み全頭 (計測26分) 全頭の構成の強化
8	ワインディング	ブロッキング込み全頭 (計測25分) 全頭の構成の強化
9	ワインディング	ブロッキング込み全頭 (計測24分) 全体構成の強化
10	ワインディング	ブロッキング込み全頭 (計測23分) 全体構成の強化
11	ワインディング	ブロッキング込み全頭 (計測22分) 全体構成の強化

12	ワインディング	ブロッキング込み 全頭 (計測:21分)
13	ワインディング	総まとめを実施する (全頭計測:21分)
14	ワインディング 総まとめ	ブロッキング込み全頭 (計測21分)
15	総合授業	後期振り返り
各回の展開【ヘアアレンジ】		
回数	単元	内容
1	後期オリエンテーション シニヨン・土台作り／夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き導入
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
7	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	美容実習 I -F		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I -F		
				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40%(ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)				
認定条件	・出席が48単位時間以上(実質時間数40時間以上)の者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	就職対策 I・ビジネスマナー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	赤坂 亮太			実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として8年勤務した実務経験を基に、国家試験実技を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	全頭ブリーチについて
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習
7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	1	30
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける		
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。		
評価基準	【評価】テスト50%、課題・提出物20% 授業態度等30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	サービス接遇検定3級		
関連科目	就職対策		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田 靖子 他1名	実務経験	○
実務内容	航空会社にて客室乗務員として10年間乗務後、企業研修や学生に向け「ビジネスマナー」「就職面接対策」「接客実務」などの指導に携わる。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
4	専門知識・一般知識	全頭ブリーチについて
5	対人技能(敬語)①	様々な接遇用語・敬語について
6	対人技能(敬語)②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
7	対人技能(一般的なマナー)	動作を行う際の基本・ポイントについて
8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接遇者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科・ヘアメイク科	1	30
使用教材	NESTA Essential Life Skills		出版社	NESTA JAPAN	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。		
到達目標	自己の人生をコントロールする方法を理解することができる。 健全な人間関係構築のための考え方を身につけることができる。		
評価基準	授業態度:30% レポート・課題など(提出物):70%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	就職対策Ⅰ・Ⅱ / キャリアデザイン		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中原明日香	実務経験	○
実務内容	アイラッシュ専門店にてアイリストとして7年勤務した実務経験を基に、アイラッシュ実技を教授する		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 「大人になる」ために	キャリアデザイン・NESTA授業について
2	自分の人生をコントロールするには 何を望み、それをどう得るか？	「大人として人生を見る」とは…、自己管理、関係構築、社会的責任の理解と実践を知る。 日常の小さな選択から人生の大きな決断まで、自分の望みを見極め、それを実現する方法を学ぶ。
3	変化する世界をどう生きるか？ 人間と社会性 友情の役割とその育て方	変化する世界に適応し、テクノロジーと倫理的な使い方を学ぶ 友情の大切さ、質の高い友人関係の築き方と維持方法、及び人間関係の影響力について学ぶ
4	家族の中の自分 恋愛における人間関係	全頭ブリーチについて
5	効果的なコミュニケーションスキル	効果的なコミュニケーションスキルの基礎と、会話の始め方、対立の解決方法を学ぶ
6	キャリアの形成と職業選択 仕事で成功する方法	自分の興味・適性に合った仕事を見つけ、キャリア形成の方法と履歴書、エントリーシート等の就職の手順を学ぶ 新しいスキル習得やプロフェッショナルな印象を与える服装選び、インポスター症候群の克服方法を学び、職場で成功する基盤を築く
7	「給料」について考える	お金の大切さと賢い使い方を学び、給与計算、税金、貯蓄、投資の基礎知識を学ぶ。
8	住まいと車の選び方 生活の中での予期せぬ事態への備え	一人暮らしの準備と管理、自宅の役割、適切な住まいの選び方、賃貸と購入の比較、引越しの計画、生活空間のデザイン、安全な住環境の確保、適切な交通手段の選択方法を学ぶ。 予期せぬ事態に備える重要性、家のメンテナンス、電気・水害対策、他者からの助けの求め方を学ぶ
9	楽しく健康的に食べる・栄養の基本 メンタルヘルス 責任ある「市民＝社会の一員」であるための 方法・失敗から学ぶ未来への教訓	栄養の基本、健康維持方法、健康的な食事習慣形成、健康的に食べる方法を学ぶ メンタルヘルスの基礎、困難への対処法、薬物乱用問題を学ぶ 社会人の責任、倫理的行動、社会への積極的な貢献、情報収集の重要性、意思決定を行う自分の役割を学ぶ
10	サロン調べ	実習に行きたいサロンを調べる
11	自己PR作成	自己PRの起こし方・作成
12	自己PR作成	自己PR作成

13	自己PR作成	自己PR仕上げ
14	就職後をイメージ	卒業生仕事動画紹介
15	総合授業	後期への意識付け
16	前期振り返り 後期オリエンテーション	前期の振り返り 後期実施内容について
17	学外実習について	実習の心構え
18	学外実習について	実習先依頼方法・言葉遣い
19	学外実習について	訪問時の立ち居振る舞い
20	就職に向けて	履歴書落とし込み
21	就職に向けて	履歴書作成
22	就職に向けて	履歴書作成
23	テスト	筆記テスト
24	求人について	求人票の見方
25	求人について	保険や制度
26	ビジネス文書	お礼状・添え状
27	面接時の立ち居振る舞い	面接演習
28	行事	就職決起会
29	行事	就職決起会
30	行事	就職フェア

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	1	30
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。 美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。		
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。 顧客の共感や集客につながるメッセージや写真をTwitter、Instagram、LINE@などのSNSやWEBを通じて発信できるようになる。 各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握、理解し、実践できるようにする。		
評価基準	テスト30%、検定試験30%、課題・提出物10%、授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	サービス接遇検定3級		
関連科目	就職対策/フォト&ファッション		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田 靖子	実務経験	○
実務内容	航空会社にて客室乗務員として10年間乗務後、企業研修や学生に向け「ビジネスマナー」「就職面接対策」「接客実務」などの指導に携わる。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定対策授業	復習と練習問題
	WEBマーケティングとSNS	SNSアカウント運用、広告、HP、LPの役割、ペルソナの設定などの基礎知識の講義
2	検定対策授業	復習と練習問題
	Instagramマーケティング	全頭ブリーチについて
3	検定対策授業	復習と練習問題
	X(旧Twitter)マーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
4	検定対策授業	復習と練習問題
	公式LINEアカウントマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
5	検定対策授業	復習と練習問題
	Youtubeマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
6	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説
	Facebook/Tiktokなどの各種SNSについて	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表

7	履歴書作成①	履歴書とは、履歴書のマナー、履歴書の書き方について
	炎上防止と炎上があった際の対策	ケーススタディ
8	履歴書作成②	履歴書作成
	画像撮影、加工の基礎	講義+実践
9	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句
	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	社交文書 ②	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状、送付状について
	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
	ライティングの基礎	講義+実践(9回目、11回目で撮影した写真・動画を使ってSNSの更新を行う)
12	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
	ランディングページ(LP)を作ってみよう	SNSで人気のあるLPの紹介と簡易LP構築ツールを使用したLPの作成
13	実技演習②「面接練習」 実技演習③「電話対応」 実技演習④「お茶出し」	面接試験の種類とチェックポイントについて 面接ロールプレイング
	WEB・SNS広告の概要と基本思想	講義(リスティング、SNS、GDN、YDN)それぞれの効果的な活用方法と特徴
14	実技演習②「面接練習」 実技演習③「電話対応」 実技演習④「お茶出し」	電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法を学ぶ
15	総合授業	総まとめ
	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラー & ファッション		
必修選択	選択	(学則表記)	カラー & ファッション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科全コース	1	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエイスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッションの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識を学ぶ		
到達目標	様々なシーンでトータルコーディネートをする時に、しっかりとした理由付けが出来る		
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業態度等20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定(任意)		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松本千早 他1名	実務経験	○
実務内容	カラー資格を取得後、ホテルにてブライダルカラーカウンセリングを10年以上勤務。カラスクール、企業にて色彩講師・パーソナルカラー講座を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーとは	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 パーソナルカラーについて
2	色の連想	色のイメージを知る
3	色の心理的効果	色の持つイメージと心理的効果について
4	色と光について①	全頭ブリーチについて
5	色と光について②	色が見える不思議について②
6	色の特徴について①	色の基礎、有彩色、色の三属性の色相について
7	色の特徴について②	色の三属性の明度・彩度について
8	色の特徴について③	トーンについて
9	色の特徴について④	トーンのイメージワード、トーンのイメージについて
10	ブリーチ選定理論とは①	慣用色と配色の応用について
11	パーソナルカラーの基礎①	個人が生まれ持った色の違いや特徴について
12	パーソナルカラーの基礎③	身に着ける色の4つの特徴について

13	パーソナルカラーの基礎④	各シーズンの典型的なタイプについて
14	前期試験	前期まとめテスト
15	総合授業	テスト返却・総まとめの実施
16	パーソナルカラーの基礎⑤	対比と、色の作用や使い方について
17	パーソナルカラーの基礎⑥ パーソナルカラーの判定①	照明によっても見え方の違いについて
18	パーソナルカラーの判定②	パーソナルカラー判定の手順ややり方について
19	パーソナルカラーの判定②	判定のポイントについて
20	パーソナルカラーの判定④	各シーズンにあうファッションの特徴について
21	パーソナルカラーの判定⑤	配色の基礎について
22	パーソナルカラーの判定⑥	セパレーションカラー、アクセントカラーの効果について
23	パーソナルカラーの判定⑦	表現したいイメージを色によって作り出す方法について
24	アドバイス実践①	混色の原理について
25	アドバイス実践②	各シーズンに合うヘアカラーや髪の毛の仕組みについて
26	アドバイス実践③	各シーズンに合うメイク・ネイルカラーの特徴について
27	アドバイス実践④	各シーズンに合うブライダルの特徴について
28	パーソナルカラーのアドバイス	パーソナルカラー判定について
29	後期試験	後期まとめ試験
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	2	60
使用教材	ヘアアレンジー式、ヘアアレンジテキスト(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。				
到達目標	ブラッシング・ピンニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。 就職活動に必要なセルフテクニックを知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松下 有希子			実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として23年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、道具の使い方、頭部のポイント、コーム・ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、基礎知識、頭部名称
2	ブロッキング、ゴム結び(一束結び)、ピンニング	ブロッキング、ポニーテール導入
3	三つ編み・編み込み	ポニーテール反復練習 三つ編み・編み込み導入&練習
4	片編み込み・フィッシュボーン	全頭ブリーチについて
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ヘアアイロン	アイロン導入
8	ヘアアイロン	アイロン反復練習
9	ホットカーラー	ホットカーラー導入
10	ブリーチ選定理論とは①	ホットカーラー反復練習
11	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー反復練習・逆毛導入

12	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー、ピニング、逆毛反復練習
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	テスト	実技テスト
15	総合授業	まとめを行う
16	後期オリエンテーション シニヨン・土台作り／夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き導入
17	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
18	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
19	夜会巻②	夜会巻(練習)
20	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
21	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
22	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
23	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
24	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
25	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
26	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
27	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
28	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
29	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム		
必修選択	選択	(学則表記	未来デザインプログラム		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	1	30
使用教材	7つの習慣J テキスト 夢のスケッチブック(WEBアプリ)		出版社	ダイヤ書房	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。		
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。		
評価基準			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	福岡 誉之	実務経験	○
実務内容	小学生、中学生に対してのサッカーのコーチを13年、保健体育の高校教員として10年携わったのちキャリアの授業を教授する		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	夢のスケッチブックアプリの使い方を学ぶ SANKOワークコンピテンスの理解を深める
2	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
3	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
4	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
5	ブリーチ選定理論とは①	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
6	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
7	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
8	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
9	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ

12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域(緊急性はないが重要なこと)を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容(私的成功)の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ
16	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解させ、信頼にも貯金箱があることを理解させる
17	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解するため
18	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを理解させる
19	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
20	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ばせる
21	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があるということを伝える
22	自分を磨く	自分を磨くことの大切さを伝え、具体的な行動を考えさせる
23	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続で未来は自分の選択次第ということを学ぶ
24	人生ビジョンを見直そう	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を確固たるものにする。同時に望む生活をするためにお金が必要であることを知り、現実的なライフプランが大切であることを理解させる
25	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
26	未来マップを作ろう②	未来マップを発表し合うことで、自身の夢を宣言し、実現に向けた決意を促す
27	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える機会とする 演習「感謝の心」事例「祖父への思い」
28	7つの習慣授業の復習	7つの習慣Jの復習をすることでその関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
29	後期テスト	後期授業内容の確認テスト実施
30	2年生に向けて	成功するためにはあきらめないことが必要であることを学び、夢の実現に向けて頑張ろうと決意させる

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	1	30
使用教材	キャリアワークブック			出版社	オリジナル
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界で働くことに興味を持たせる 美容業界を知り、自ら企業を研究させる				
到達目標	美容業界の特徴を知る。職種を知る。 企業・サロンを知る。就職活動に向け自分自身をPRする。				
評価基準	定期試験20%、提出物50% 授業態度等30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上のもの				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡真帆 他2名			実務経験	○
実務内容	トータルビューティーサロンにてカウンセラー勤務4年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職対策について	就職対策について/成績のつけ方/テスト日程伝達
2	社会人と学生の違い	就職とは/学生と社会人の違いについて考える※グループワーク
3	サロンについて知る	美容業界の職種について知る※グループワーク
4	サロンについて知る	全頭ブリーチについて
5	自己分析	自己分析 導入～高校時代・アルバイト
6	自己分析	自己分析シート記入
7	自己分析	自己分析シート記入
8	テスト	筆記テスト
9	サロン調べ	サロン調べの方法・興味のあるサロンを知る
10	ブリーチ選定理論とは①	実習に行きたいサロンを調べる
11	自己PR作成	自己PRの起こし方・作成
12	自己PR作成	自己PR作成

13	自己PR作成	自己PR仕上げ
14	就職後をイメージ	卒業生仕事動画紹介
15	総合授業	後期への意識付け
16	後期就職対策について	後期就職対策について/成績のつけ方/テスト日程伝達/学外実習について
17	学外実習について	実習の心構え
18	学外実習について	実習先依頼方法・言葉遣い
19	学外実習について	訪問時の立ち居振る舞い
20	就職に向けて	履歴書落とし込み
21	就職に向けて	履歴書作成
22	就職に向けて	履歴書作成
23	テスト	筆記テスト
24	求人について	求人票の見方
25	求人について	保険や制度
26	ビジネス文書	お礼状・添え状
27	面接時の立ち居振る舞い	面接演習
28	行事	就職決起会
29	行事	就職決起会
30	行事	就職フェア

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅰ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅰ-A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	ヘアー→ウィッグ、カット教材一式、カラー教材一式、ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤 メイク→メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター メイク→ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアー→サロンワークに必要なカットスタイルの基礎を理解し、スタイルに合わせたブローやスタイリングを学ぶ。カラーリングの基礎を理解し、実践的に学ぶ。 メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ヘアー→実践に結び付く技術 カット・ブロー・スタイリング・アイロン・カラーリングの習得。 学んだ技術により、ひとつのスタイルを作成する。 メイク→スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	ヘアー(テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%) メイク(テスト50%、提出物30% 授業意欲20%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	美容実践Ⅰ 美容技術理論Ⅱ				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	池田 亜希子 他1名			実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【カット・パーマ・カラー】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認(教材の名称・扱い方・管理方法)
2	カット・ブロー基礎	ワンレングスカット ハンドブロー、ハーフラウンドブラシブロー
3	カット・ブロー基礎	グラデーションカット
4	カット・ブロー基礎	全頭ブリーチについて
5	カット・ブロー基礎	グラデーションカット ハーフラウンドブラシブロー(ロールブラシ)、グラデーションスタイルブロー スタイリング(アイロン)
6	カット・ブロー基礎	レイヤーカット
7	カット・ブロー基礎	レイヤーカット ハーフラウンドブラシブロー(ロールブラシ)、レイヤースタイルブロー
8	カット・ブロー基礎	レイヤーカット ハーフラウンドブラシブロー(ロールブラシ)、レイヤースタイルブロー スタイリング(アイロン)
9	ブロー テスト	スタイルブロー まとめを実施する
10	ブリーチ選定理論とは①	ヘアカラーの種類、脱色剤、染毛メカニズム、色の基本 ヘアカラー・ヘアブリーチ・ヘアマニキュア塗布練習

11	カラーリング	ヘアカラー、ヘアマニキュア塗布練習
12	カラーリング テスト	ヘアカラー塗布 総まとめを実施する
13	アイロンセット	アイロンワーク
14	応用	スタイル作成・フリーカット
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、 ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分 ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ) ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅰ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅰ-B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト) エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【特殊・アーティスト・モデルメイク】特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	・【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	美容実践Ⅱ-B				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)+(特殊・アーティスト・モデルメイク)				
担当教員	池田 亜希子 他2名			実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディアート①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) ボディアート等の実践
2	ボディアート②	ボディアート等の実践
3	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
4	傷メイク①	全頭ブリーチについて
5	老人メイク①	老婆のメイクを実践する
6	老人メイク①	老父のメイクを実践する
7	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
8	舞台メイク②	舞台の男役メイクを実践する
9	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
10	ブリーチ選定理論とは①	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
11	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する
12	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する

13	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する
14	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅰ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅰ-C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	【花嫁着付け】教本・花嫁テキスト・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも(1))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(5点セット)足袋 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)		出版社	【花嫁着付け】桜花出版KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【花嫁着付け】着付に関する知識・技術を身につける。 【ベーシックメイク】スキんケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【花嫁着付け】着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、・着付け3級(12月強制受験 免許免除)を取得することが出来る。 【ベーシックメイク】スキんケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	・【花嫁着付け】(検定試験:20% テスト:15% 授業態度:15%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般財団法人京都市の伝統文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	美容実践Ⅱ-C				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)+(花嫁着付け)				
担当教員	池田 亜希子 他2名			実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【花嫁着付け】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	全頭ブリーチについて
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	ブリーチ選定理論とは①	着付け3級検定(小紋の着付と蝶結び(20分))を実施する たたみ方テストを実施する

11	座学	着物の名称と用語(プリント①②)について 試験結果を通知する
12	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
13	振袖の着せ方1	振袖の着付、補整の仕方(胸元・肩・ウエスト)、たたみ方を学び実践する
14	振袖の着せ方2	袋帯について、結び方を学び実践する
15	総合学習	総まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践 I -D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践 I -D		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック・ジェル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なマニキュア技術を実践できる		
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、JNEC3級レベルを習得		
評価基準	小テスト30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級／JNAジェルネイル検定初級		
関連科目	サロンワークⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	平野淑子	実務経験	○
実務内容	トータルビューティーサロンにヘアメイク、ネイル等の美容業務に7年携わる。その後、ネイル科の教員となり、ネイリストを続けながら現在に至る。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材配布・テーブルセッティング	教材確認及び名称・用途説明 検定を意識したテーブルセッティングを学ぶ
2	導入 ネイル概論	5パターンのファイリング方法を学ぶ 美容理論での爪の構造と働きの違いを学ぶ。
3	ネイル概論 ポリッシュカラーリング 実技	歴史や技術体系を学ぶ ポリッシュの塗り方を学ぶ
4	小テスト ファイリング・バッフィング	全頭ブリーチについて
5	小テスト・ネイル概論 カラーリング(相モデル)	相モデルでポリッシュの塗り方を学ぶ
6	ネイル概論 キューティクルケア	ケアの方法を学ぶ
7	ジェルネイル概論 第一課題 相モデル	ジェルに関しての知識を取得する ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
8	小テスト キューティクルケア	ジェル検定に向けて第一課題を練習する
9	小テスト 第一課題 相モデル	ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
10	ブリーチ選定理論とは①	ファイリング～ケアまで通して練習する
11	ジェルカラーリング 実技 オフ 実技	ジェルでのカラーリング方法と、ジェルのオフの方法を学ぶ
12	小テスト 片手ケア～カラーリング～オフ	ジェル検定初級とは違った、両手のカラーリングを学ぶ

13	ジェルアート(ピーコック) 赤ジェル〜ピーコック 実技	初級の検定内容になっているジェルアートの技法を学び、練習する
14	ネイル概論 ペイントアート	アクリル絵の具を使ったネイルアートを学ぶ
15	第二課題 実技	第二課題をマスターする
16	小テスト	カラーリング〜ペイントアート 実技
17	第二課題 実技	第二課題をマスターする
18	ケア〜カラー 実技	ケアを中心に復習する
19	筆記試験 検定説明・初級DVD	筆記試験・検定説明・初級DVD
20	3級内容 実技	実技試験練習
21	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
22	3級内容 実技	実技試験練習
23	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
24	実技テスト3級内容 筆記テスト 練習	事前審査5分 実技試験70分 チェック10分
25	実技試験 ジェル検定初級内容	事前審査5分 第一課題35分 第二課題60分
26	実技テスト3級内容 筆記テスト 本番	事前審査5分 実技試験70分 チェック10分
27	実技試験 ジェル検定初級内容	事前審査5分 第一課題35分 第二課題60分
28	3級 通し	事前審査5分 実技試験70分 チェック10分
29	総合授業	総まとめを行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅰ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅰ-E		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ネイル検定対策】JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック (デジタルテキスト)		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ネイル検定対策】ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なマニキュア技術を実践できる 【ベーシックメイク】ス킨ケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ネイル検定対策】ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、JNEC3級レベルを習得 【ベーシックメイク】ス킨ケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	・【ネイル検定対策】(検定結果15%・授業態度他5%・筆記テスト15%・実技テスト15%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNAジェルネイル検定初級				
関連科目	美容実践Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)+(ネイル検定対策)				
担当教員	池田 亜希子 他1名			実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ネイル検定対策】

回数	単元	内容
1	導入・教材配布・ テーブルセッティング ネイル概論(マニキュアの歴史)	教材確認及び名称・用途説明 検定を意識したテーブルセッティング・ケアカラーとは何かを学ぶ
2	爪の構造 ファイリング実技 (トレーニングハンド)	爪の各部名称を覚える エメリーボードの持ち方、 支え方、角度、動かし方など様々なカットスタイルをマスターする
3	ケアデモ ケア実技	手順と用具の使用法を学ぶ ウッドスティック削り・コットンの巻き方
4	消毒法 ファイリング・バッフィング実技(ハンド・相モデル)	全頭ブリーチについて
5	ケア実技(相モデル)	ケア手順をマスターする
6	カラーリング・オフ デモ シート実技	カラーリングをマスターする
7	カラーリング 相モデル実技	
8	ケア～カラーリング～ ポリッシュリムーブ実技	ケア・カラー手順をマスターする
9	フラットアート講義・デモ 実技(アクリル絵の具)	3級検定用アートなどの 基本のアートを学ぶ チップにラウンド・カラー・アートの宿題
10	ブリーチ選定理論とは①	爪のトラブルを覚え、カウンセリングの必要性を学ぶ JNEC3級検定受験についての説明
11	ケア・カラー・アート実技	検定技術をマスターする ※3級検定受験者には チップにラウンド・カラー・アートの宿題
12	ケア・カラー・アート実技	

13	筆記試験 ケア・カラー実技	筆記試験 JNEC3級検定受験内容に準じる
14	実技試験	実技試験 JNEC3級検定受験内容に準じる
15	総合授業	総まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅰ-F		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅰ-F		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科	3	90
使用教材	ヘアカラーリスト→ウィッグ、カラー教材一式 メイク→メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	メイク→ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアカラーリスト→基本的なカラーの考え方が理解・実践できる。 メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	ヘアカラーリスト→オンカラー塗布が適切にできる。全頭ブリーチが適切にできる。長さ別のリタッチが適切に塗れる。 メイク→スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。人にメイクが出来るようになる。		
評価基準	ヘアカラーリスト(テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%) メイク(テスト50%、提出物30% 授業意欲20%)		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	美容実践Ⅱ 美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。 この科目は「ヘアカラーリング」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	岸本真奈美	実務経験	○
実務内容	美容室で美容師として勤務した実務経験を基に教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ヘアカラーリング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明、 教材確認(教材の名称・扱い方・管理方法)、HAIR COLOR ACADEMYについてと使用方法の説明を行う
2	オンカラー塗布とは①	全頭カラーについて
3	オンカラー塗布とは②	オンカラー塗布練習とチェックを行う
4	全頭ブリーチとは①	全頭ブリーチについて
5	全頭ブリーチとは②	ウィッグ全頭ブリーチ練習とチェックを行う
6	ブリーチリタッチとは①	ブリーチリタッチについて
7	ブリーチリタッチとは②	ブリーチリタッチ練習とチェックを行う
8	ブリーチロングリタッチとは①	ロングリタッチについて
9	ブリーチロングリタッチとは②	ブリーチロングリタッチ練習とチェックを行う 実技テストを行う
10	ブリーチ選定理論とは①	ブリーチ選定／毛束実習(15Lv、17Lv、19Lv作る)について
11	ブリーチ選定理論とは②	ブリーチ選定理論

12	薬剤選定理論とは①	薬剤選定／毛束実習(色味指定)について
13	薬剤選定理論とは②	薬剤選定理論
14	実技テスト	オンカラー＋薬剤選定 実技テストを行う
15	総合授業	前半の振り返りを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニクの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う